

# 田井地区 ため池ハザードマップ 広域図

特に注意する必要があるケース

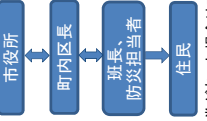
【地震時】

- ため池の堤防の陥没、ひび割れ、ため池の堤防からの湧水が発生した場合
- 震度5強以上の地震が発生した場合

【大雨時】

- 急激な水位上昇により流水がため池の堤防を超えようとする場合
- ため池の堤防から漏水が発生している場合
- ため池の堤防の陥没が発見された場合

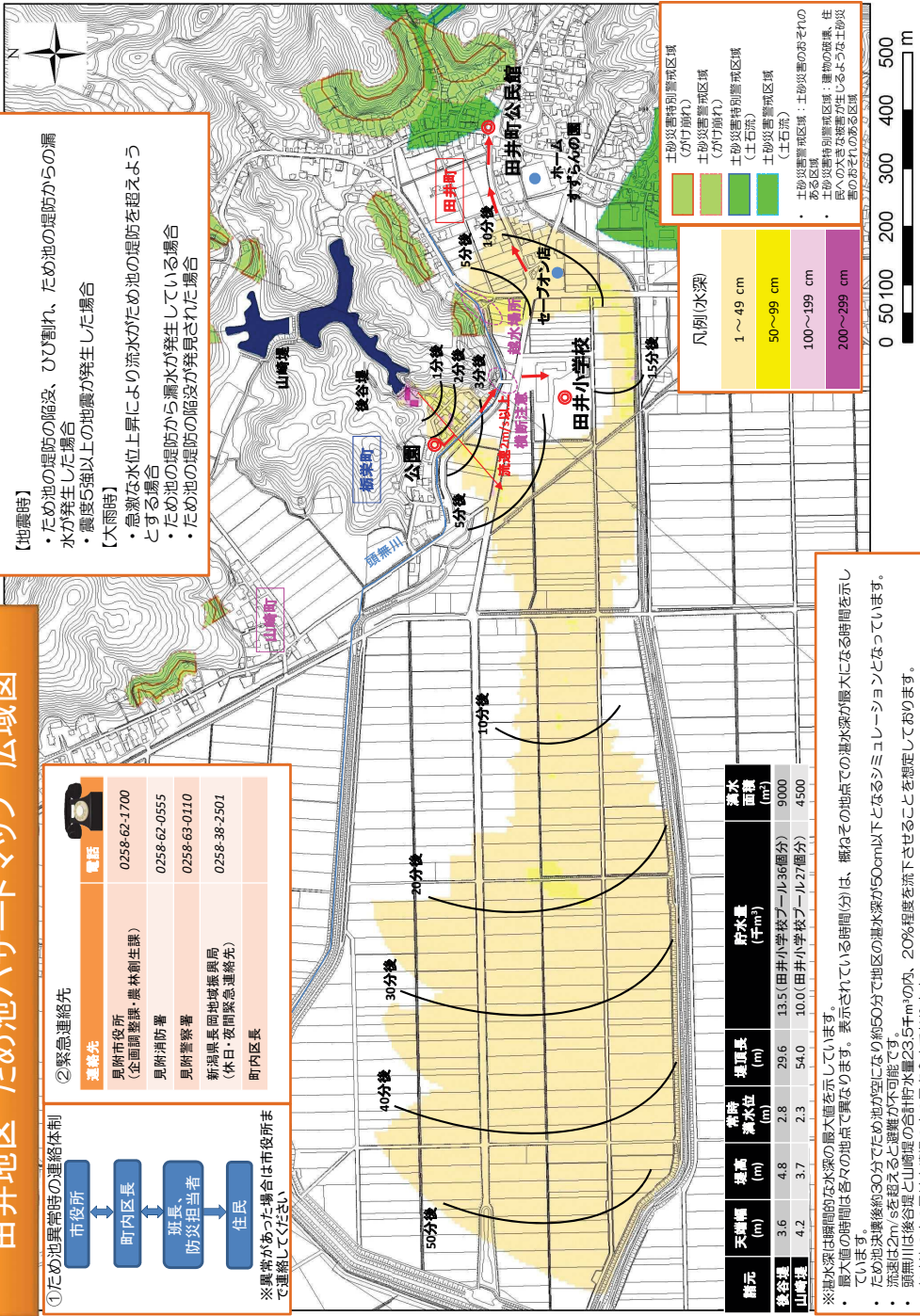
## ①ため池異常時の連絡体制



※異常があった場合は市役所まで連絡してください

## ②緊急連絡先

連絡先	電話
見附指役所 (企画調整課・農林創生課)	0258-62-1700
見附消防署	0258-62-0555
見附警察署	0258-63-0110
新潟県長岡地域振興局 (休日・夜間緊急連絡先)	0258-38-2501
町内区長	



標高 (m)	天候観測 (m)	堤高 (m)	水深 (m)	堤加長 (m)	貯水量 (千m³)	洪水面積 (m²)
3.6	4.8	2.8	2.8	29.6	13.5 (田井小学校プール56層分)	9000
4.2	3.7	2.3	2.3	54.0	10.0 (田井小学校プール27層分)	4500

※洪水深は瞬間的な水深の最大値を示しています。

- 最大水面高は各々の地点で異なります。表示されている時間(分)は、概ねその地点での洪水深が最大になる時間を示しています。
- ため池決壊後約30分/ため池が空になり約50分/地区の洪水深が50cm以下となるシミュレーションとなっています。
- 流速は2m/sを超えると避難が不可能です。
- 頭無川は後台堤と山崎堤の合計貯水量23.5千m³の内、20%程度を流下させることを想定しております。
- ため池の量は山崎堤の水の量を覚えておきます。

# 田井地区 ため池ハザードマップ 拡大図

## 【山崎町の避難体制】

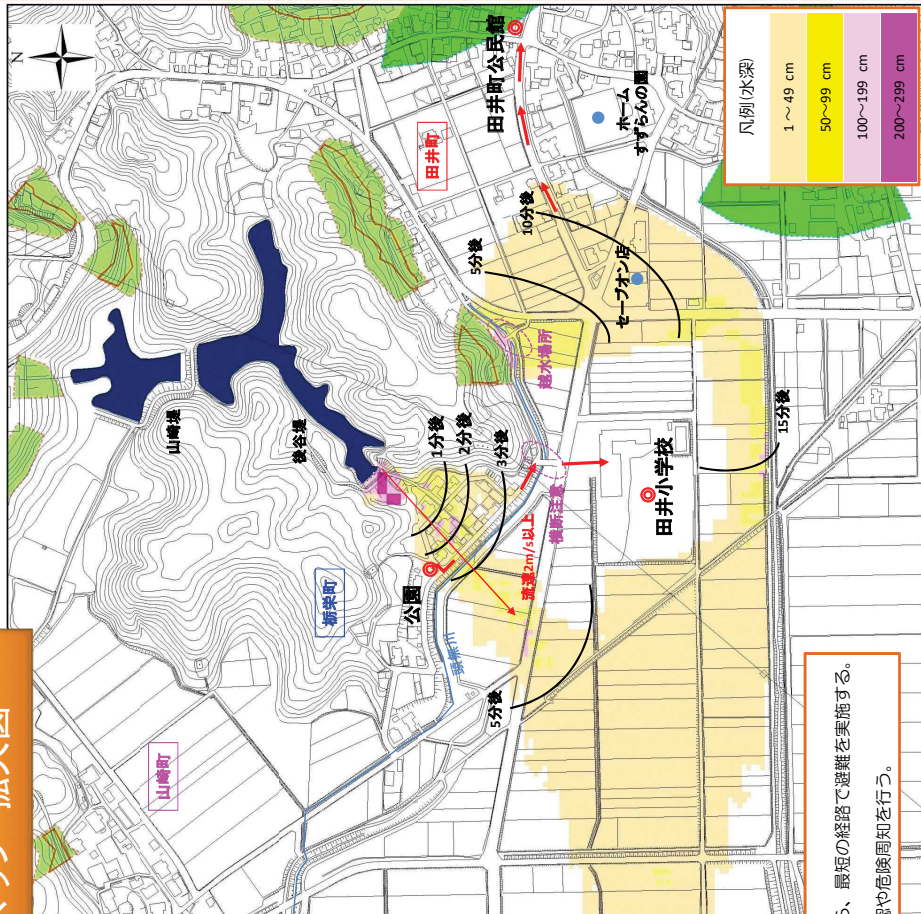
1. 避難の判断
  - 防災スピーカーなどの情報により、各自が避難が待機のみを判断する。
2. 避難場所
  - 浸水が想定されないため自宅待機とする。
3. 避難方法
  - 自宅待機とする。

## 【栃末町の避難体制】

1. 避難の判断
  - 破堤後すぐに浸水する想定のため、各自が避難が待機のみを判断する。
2. 避難場所
  - 田井小学校又は公園へ避難する。
3. 避難方法
  - 避難場所へ徒歩で移動する。

## 【田井町の避難体制】

1. 避難の判断
  - 防災スピーカーなどの情報により、各自が避難が待機のみを判断する。
2. 避難場所
  - 田井町公民館へ避難する。
3. 避難方法
  - 避難場所へ徒歩で移動する。



## 【避難経路について】

- 土砂災害危険箇所、頭無川、県道の横断などに注意しながら、最短の経路で避難を実施する。
- ## 【避難訓練について】
- ため池の被害を想定した避難訓練を実施し、要援護者の確認や危険周知を行う。

## 【注意】

このハザードマップはあくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。周囲の状況により、ご自分で判断し行動することが重要です。

凡例(水深)
1 ~ 49 cm
50 ~ 99 cm
100 ~ 199 cm
200 ~ 299 cm

